

議会だより そとがはま

第78号

令和6年11月

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会予定
12月6日(金)~10日(火)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



8/20~8/21 小学生県外研修 (フリディッシュヒルス【福島県】)

目次

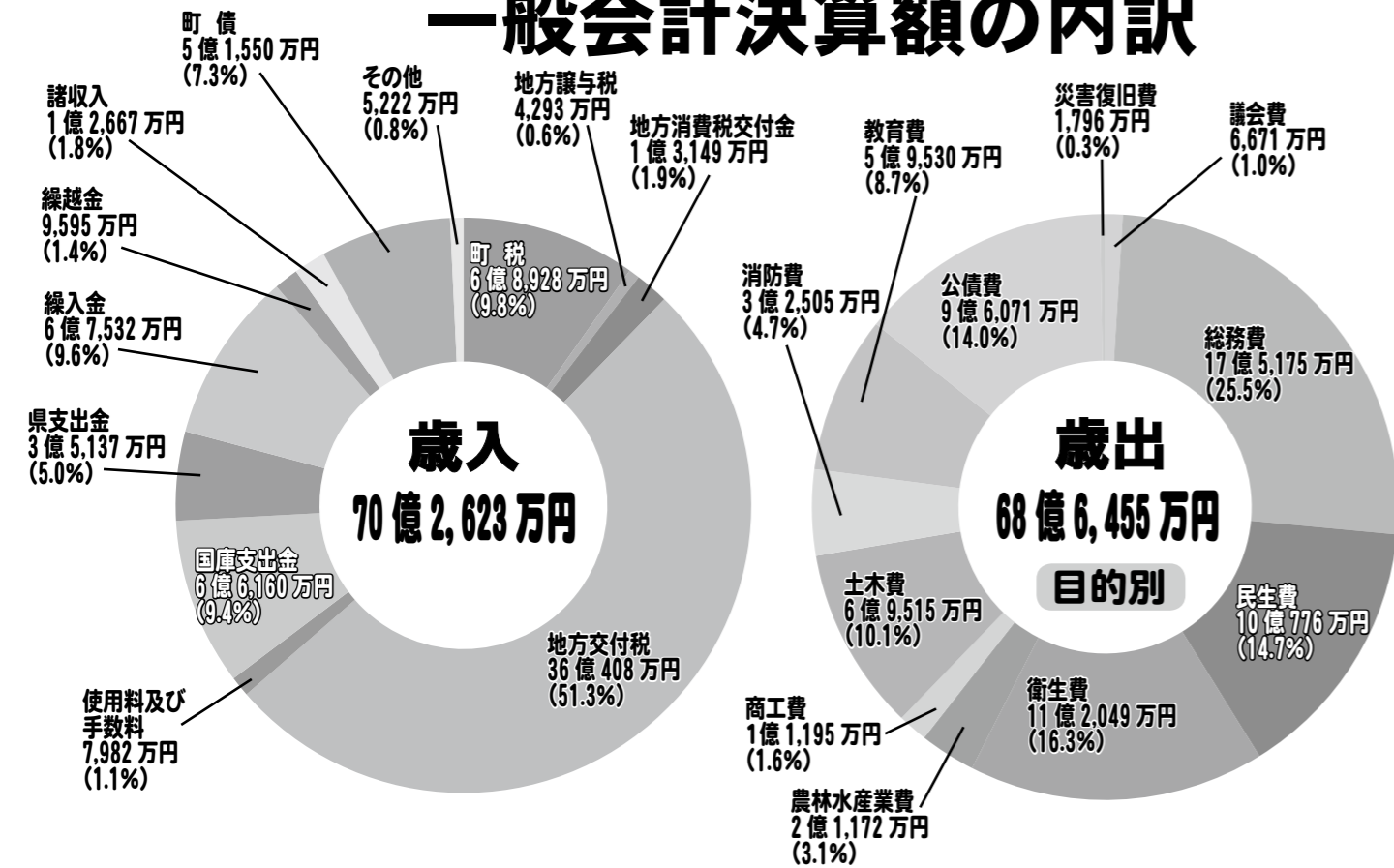
- 第152回9月定例会／2~7
- 一般質問：6議員が登場／8~13
- 第151回臨時会／14

- 議会活動報告／14~15
- 議会にお越しく下さい／16

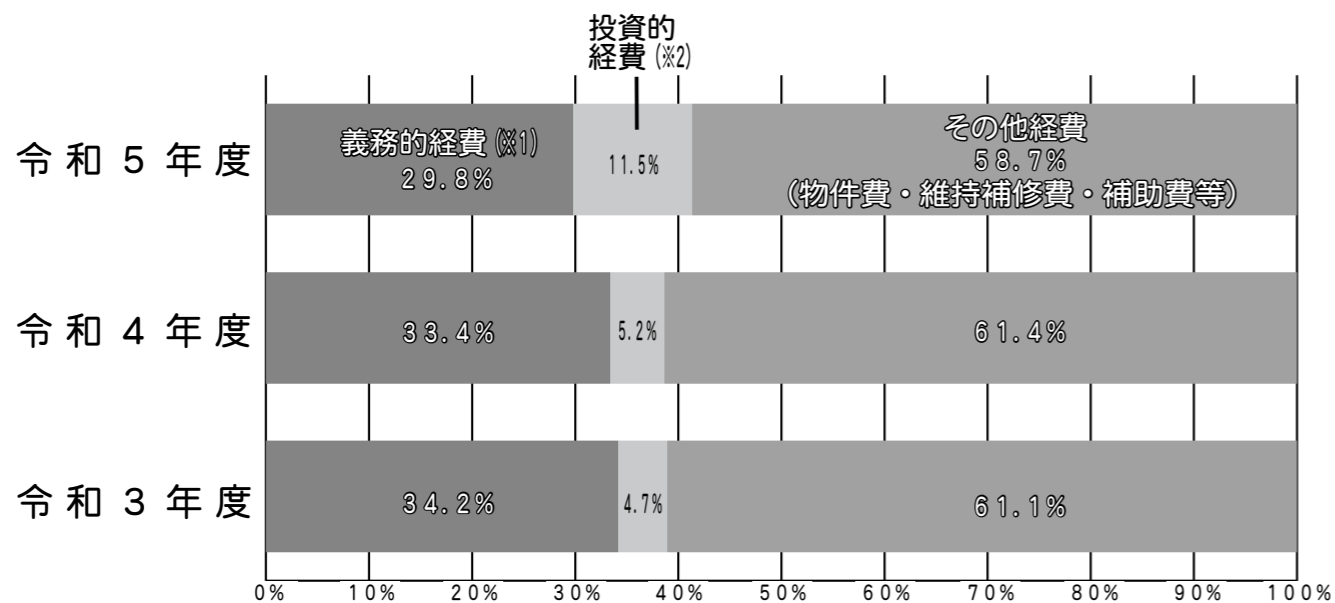
令和5年度 一般会計・特別会計・企業会計

11会計の歳入歳出決算を認定

一般会計決算額の内訳



歳出の性質別構成比と推移



(※1) 義務的経費とは、支出が法令で義務付けられた任意に削減出来ない経費で人件費、公債費、扶助費の合計額

(※2) 投資的経費とは、支出が資本の形成に向けられる経費で普通建設事業費、災害復旧事業費の合計額

第152回定例会は、9月6日から9月12日までの7日間の日程で開催しました。補正予算案、町条例の一部改正案、規約の変更など合わせて8件を審議し、全て原案のとおり可決しました。令和5年度の一般会計、特別会計、企業会計の歳入歳出決算認定については、決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり認定しました。一般質問は、6人の議員が登壇し、通告順に10〜15ページに掲載しています。

●令和5年度一般・特別会計の決算額

区分	歳入	歳出	差引残額	歳出前年度比
一般会計	70億2,623万円	68億6,455万円	1億6,168万円	102.7%
国民健康保険	9億965万円	9億771万円	194万円	96.2%
介護保険	12億1,749万円	11億6,966万円	4,783万円	96.3%
大字費	132万円	132万円	0円	159.0%
平館財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
根岸財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
野田財産区	2千円	2千円	0円	20.0%
後期高齢者医療	1億1,140万円	1億1,055万円	85万円	107.8%
合計	92億6,610万円	90億5,380万円	2億1,230万円	101.2%

●令和5年度病院事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	10億2,061万円	10億845万円	1,216万円	91.3%
資本的収支	9,557万円	1億2,347万円	▲2,790万円	147.9%
合計	11億1,618万円	11億3,192万円	▲1,574万円	95.3%

●令和5年度簡易水道事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	2億5,938万円	2億4,507万円	1,431万円	95.9%
資本的収支	7,123万円	1億8,659万円	▲1億1,536万円	110.0%
合計	3億3,061万円	4億3,166万円	▲1億105万円	101.5%

●令和5年度下水道事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	2億302万円	1億8,189万円	2,113万円	—
資本的収支	1億2,937万円	1億9,532万円	▲6,595万円	—
合計	3億3,239万円	3億7,721万円	▲4,482万円	—

※各事業会計の決算額には、仮受・仮払消費税が含まれています。

まちの家計簿
決算特別委員会で慎重に審査

決算特別委員会（石岡勉委員長）は、9月9日、10日、11日の3日間にわたって開かれ、慎重に審査しました。

ただよび（仮）

一般会計

平館交流センターへ
防災行政無線の移転を

問 福井洋一委員

旧平館小学校の利活用として、平館交流センターへ支所機能が移転したが、防災行政無線の機器がまだ移転されていない。緊急の場合は支所から放送することがある。支所機能を移転した以上、防災行政無線の機器も移転すべきと思うが。

答 総務課長

防災行政無線は、利用頻度の関係で今のまま残

している。今後は本庁対応でやっていきたい。

主食費も無償化し
完全無償化実現を

問 横山拓雄委員

こども園の副食費は、昨年、半額助成から全額助成となり無償化となった。しかし、こども園は完全に無償化になっていくわけではなく、主食費をまだ支払っている状況である。主食費も助成することで、本来の意味で給食費が無償化となると思うが。

答 福祉課長

当町のこども園では、1人あたり月500円を主食費として集めて、お昼に御飯を出している。しかし、他の町村に広域

で入所しているお子さんは、自宅から御飯を持って行っている。そのため、一律に助成するとなれば統一感が出ない。今後、助成する方法を前向きに検討したい。

看板を設置し
安全確保を

問 浜谷恭市委員

三厩漁港入口から湾岸のほうへ入るところの旧道が、国道339号線になる。こちらにお見えになる観光客の方でレンタカーで来る方は、ほとんどのカーナビゲーションシステムが旧道を選び、あの細い旧道に誘導されている。ナビがそちらに誘導しても、広い安全な道、住民の方にとっても

安全な道を観光客の方に通ってもらうよう、看板を設置し観光客に知らせる必要があると思うが。

答 産業観光課長

観光客や住民の安全確



国道339号と港湾道路の分岐点（三厩漁港入口付近）

二回
りー車導入を

問 浜谷恭市委員

三厩地区は道路が狭窄な部分が多くある。除雪により寄せ雪がたまってしまつて、道路が相互通行できない。以前からミニロータリー車の導入をお願いしてきた。そこで、道路の脇の草を刈っていく乗用の機械、前方についている草刈りのアタッチメントを交換することによってロータリー車にもなる。夏場は道路の草刈りができ、冬場になればロータリー車として有効に活用できる。三厩地区にはないロータリー車をぜひ導入していただきたい。

答 建設課長

使い勝手がよいのは分かっているが、購入となると、最近値段も上がっており、予算の問題もあ

るので、改めて相談して検討していきたい。

防災士の養成を

問 山口佳子委員

防災士の養成について、現在の予算は町職員が資格を取るためのものだが、他の各自自治体では、受講する住民に助成金を出しているところが多くある。町として、今後、防災士を増やしていくという意味で、養成講座に対して助成金を出すことで、しっかりと予算をつけていただきたい。

答 総務課長

町では、自主防災組織の設立を増やしていきたいと考えている。自主防災組織と防災士、連動した形で増やしていくために、今後検討していきたい。

小学生県外研修
事業の長期継続を

問 安藤英博委員

町内小学生の県外研修

事業へは、毎年、多くの子どもたちが参加している。県外へ出て、様々な地域で交流し、また、子どもたちが一緒になって生活するということは、

将来に向かって幅広い人間として成長できると思う。これからは、子どもたち全員がこの事業に参加できるように願っている。この事業は10年間となつているが、10年と限らず続けてほしい。

答 町長

参加者がだんだん増えてきていることを非常に喜ばしく思っている。この成果を子どもたちがちゃんと持ち帰って、将来に生かしていければありがたいと思う。この事業は、高額のふるさと納税があつたことから始まったものである。最低10年の予算は確保しているところだが、その後の行政については、そのときの行政と議会の方たちが判断することになると思う。保護者の反応や現在の子どもの反応を見る限りでは、現在、町として継続していきたいと考えている。



小学生県外研修に参加した子どもたちの様子

国民健康保険特別会計

認知症対策

問 福井洋一委員
初期認知症にかかわるチームでは、どのような業務内容で認知症となる方に対応しているのか。

答 福祉課長
早期診断および早期対応に向けた支援体制などを話し合っており、認知症を予防するという形で実施している。

介護保険特別会計

ポイント事業

問 山口佳子委員
ポイント事業助成金とはどのような事業か。

答 福祉課長
通いの場や、高齢者サ

ロンに住民が参加したときにポイントを付与し、10ポイントで10000円分、最大で50ポイント50000円分を限度として商品券をお渡しすることにより、皆様に活発に運動などをしてもらう事業である。

後期高齢者医療特別会計

年金天引きについて

問 安藤英博委員
後期高齢者保険料が自動的に年金から引かれ、今の物価高もあり大変だとあちこちから聞こえる。担当課はそういう方々からの声は聞いているのか。

答 住民課長
保険料が高い、払うのが大変ということは聞いています。低所得の方については、相談を受けながら適切に対応していく。

病院事業会計

病院のリハビリ体制は

問 安藤英博委員
リハビリに関する体制を増やす中で、理学療法士が1名減っている理由は。

答 中央病院事務長
理学療法士については昨年9月で1名退職しているが、その後1名採用となり、8月1日からはリハビリ体制は常勤2名で運用している。

問 安藤英博委員
作業療法士も1名新たに補充すれば、さらにいりハビリも可能になると思うが。

答 中央病院事務長
新病院のあり方等含めて、一体的に考えていきたい。

下水道事業会計

下水道計画区域内の合併浄化槽設置について

問 戒修委員
都市計画されている中、下水道が計画されている区域で建物を建てるのであれば建築確認が必要だと思うが、合併浄化槽を入れる場合は、町ではこれを受理するのか。

答 建設課長
下水道の計画区域にあっては、一部の箇所については下水の管が入っていない箇所もある。そのような場所に家を建てたい方がいて時間的な余裕がない場合については、合併浄化槽を設置している例もあると認識している。建築確認については、制度が変わって現在は受付しなくてもよいことになっている。

採決結果

- ◎ 認定第1号 一般会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第2号 国民健康保険特別会計
- 【賛成8・反対2で認定】
- ◎ 認定第3号 介護保険特別会計
- 【賛成9・反対1で認定】
- ◎ 認定第4号 大字費特別会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第5号 平舘財産区特別会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第6号 根岸財産区特別会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第7号 野田財産区特別会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第8号 後期高齢者医療特別会計
- 【賛成9・反対1で認定】
- ◎ 認定第9号 病院事業会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第10号 簡易水道事業会計
- 【全会一致で認定】
- ◎ 認定第11号 下水道事業会計
- 【全会一致で認定】

補正予算

たがひ(女)

一般会計

循環バス運行体制は

問 石岡勉議員
教育委員会の名前が入ったハイエースも循環バスの代用で走っている。車両が不足しているのか。

答 総務課長
修繕等が発生して、教育委員会の車両等も充てたりしている。最近新しい車両を購入しないでリースで対応している。町のバスはぎりぎりの台数で回っているので、今後も修理等が発生した場合、代替のバスを借りる等の処置が必要になる。

三厩体育館屋根の補修は

問 三上満議員
三厩体育館は、雨漏りによりバケツが何個も置かれている現状で、体育館としての役割が損なわれている。この雨漏りを防止するような手だては取れないか。

答 町長
三厩の機能の集約化も含めて、今後どのようにしていくかをしっかりと決めたい。どこにお金をつける、どこを残す、これはもう使わないということを、来年以降に閉校が予定されている三厩小学校も含めて、一体的に考えていく。

9月補正予算の状況

●一般会計・特別会計		
会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億4,456万円	60億1,581万円
介護保険特別会計	4,472万円	12億5,203万円
後期高齢者医療特別会計	85万円	1億1,985万円

●企業会計		
会計名	補正額	補正後の予算額
病院事業会計(収益的収入支出)	200万円	10億5,803万円

今定例会で可決された条例案等は次のとおりです

- ① 外ヶ浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例案
- ② 外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- ③ 外ヶ浜町漁港管理条例の一部を改正する条例案
- ④ 青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

問 石岡勉議員
国では、12月2日から新規の保険証を発行せず、マイナンバーカードに保険証を一体化する方向で進んでいる。それ以降は経過措置があつて、資格証明書という形でやっているが、お年寄りだけで生活している方々には、意味が分からないという方が結構いる。町として、そういう方々に対して、加入者が移行しやすいフオロアップはやっているのか。

答 住民課長
現在、国のほうでもいろいろ流動的で、町に對しての指示や、現在どのような状況なのかまだ来ていない。今後、国のほうでも完全に移行するとなれば、高齢者等、不安に思っている方について、順次、分かりやすい説明で移行の手続きをしていきたい。





柳谷隆男議員

来春予定の町長選に出馬は

■答弁▼3期目に挑戦する

問 来年4月投開票予定の外ヶ浜町長選挙に出馬し、諸課題を解決して希望あるまちづくりに引き続き取り組んでほしいが。

答 町長 この場をお借りし、3期目に挑戦することを表明する。町長に就任し1期目後半から2期目前半は、新型コロナウイルスの感染症や大雨災害への対応を優先し、結果的に進められなかった公約があることを実感しており、ぜひ3期目に実現させていきたい。

漁業・農業の将来像は

への理解を得やすくなつて、行政としての仕事を前向きに進めやすいと感じている。

問 今年の養殖ホタテの出荷状況と出荷額、併せて漁業の将来像は。また、水稲は天候に恵まれ順調に実りの秋を迎えそうだが、6つある農業法人の経営状況とファームを含めた農業の将来像は。

答 町長 今年度の養殖ホタテの出荷状況と出荷額は、前年と比べて減少している。出荷額は市場の品薄感から入札価格が高値で推移し、今年度は19・8%の増となっている。漁業の将来像は、後継者不足、高齢化が恒常的な課題としてある中、管内の漁協と連携し、獲



養殖ホタテの水揚げ作業の様子

る漁業からつくり育てる漁業へ転換を図り、持続可能な漁業経営の確立に取り組む。農業法人の経営状況は、総会の資料を見る限り、みな順調な経営状況であると認識する。将来像は漁業と同じで、担い手不足と高齢化が課題で、農協、農業者の声を聞き課題解決に向け取り組んで行く。

農免道路の草刈りを早くして

問 農免道路の草刈りが例年より遅れた理由と、自治会の共同作業の際にやってもらえるよう打診しては。

答 住民課長 作業員が募集人員より少なく、作業が遅れている状況である。通常であれば町の作業員だけで、草刈りをやっていたが、改善策としてはいい考えなので検討したい。



福井洋一議員

新病院建設に向け、決断を

■答弁▼検討や調査を再開していく

外ヶ浜中央病院の今後の進め方は

問① 現在、新病院建設の計画が凍結された状況にあるが、早期に町民の強い思いをくみ取り、予定地などを含めて決断をすべき時期ではないか。

答 町長 弘前大学、青森県及び県立中央病院による3者協定が締結され、この3者協定締結を契機として、新病院建設に向け検討や調査を再開していく。

再質問 上磯地区の中核病院である新病院の建設を決断し、救急医療体制を含む新病院建

設に向けた条件づくりをすべきでは。

答 町長 来年度以降、新しい病院について話し合いを開始していく。



現在の外ヶ浜中央病院

問② 医師確保に向け、県に対して町の強い要望があつて県が検討すると考えるが。

答 町長 新たに県に強く要望していく。一日でも早く救急を復活させるよう伝えていく。

防災・減災のために

問① 災害時の情報伝達の確実性と迅速性を高めるために、天候などの影響を受けず、聞き逃しもなくなる防災行政無線戸別受信機を希望する町民に設置していく考えはないか。

答 町長 戸別受信機のメンテ



現在使用している防災無線

ナンスや更新の際の有利な財源がなく、現在は危険の周知を住民に知らせる別の方法を検討したい。災害に備えて、

答 町長 今年度11月15日、地震を想定した全県の避難訓練を実施する予定となっており、当町でも町内の自主防災組織や自治会との共催で避難訓練を実施していく。

問③ 防災、減災対策のために河川の改修を重視することが必要と考える。町の普通河川の土砂堆積の撤去、雑木の伐採を早急に実施していただきたいと考えるが。

答 町長 何よりも住民の命と財産が大事なので、優先順位をつけて、できることから伐採、浚渫、撤去をしてまいりたい。



山口佳子議員

トイレカーの導入を検討すべき

■答弁▼「エコまるくん」の修繕と合わせて、今後、調査、検討していく

防災対策強化

能登半島地震が「半島」という地理的制約で過去の災害と比べても復旧などの対応が困難になっているため、現在も多くの住民が避難所で暮らしている。

津軽半島に位置する外ヶ浜町として、能登半島地震で起きたことを教訓に防災対策を早急に見直し、孤立前提の対策強化を急がなければならぬと考える。

問① 町内の避難所の平時の環境について確認したい。トイレ

は使用できるか。ライフラインは大丈夫か。空調設備の有無は。

答 町長 いずれの施設も、トイレやライフラインは使用可能。冷房設備は整っていないので、今後、財政的なことも考えて検討していく。

問② 災害時のトイレ環境の整備は、命を守る取り組みに通じるため「トイレトレーラー」やコンパクトで自走式の「トイレカー」の導入を検討すべきと考えるがその見解は。

答 町長 能登半島地震の際に半島が大きな被害を受け、ライフラインが断たれて



移動式循環型トイレ「エコまるくん」

しまった被災地でトイレカーが活躍したことは知っている。当町の「エコまるくん」の修繕と合

わせて、今後、調査、検討していく。

問③ 避難所の運営マニュアルの作成

を要望していたが、進捗状況は。
答 町長 今年度、外ヶ浜町防災計画の見直しを検討しているため、完成後にマニュアルの作成に取りかかる。

問④ 自主防災組織の育成について、町の取り組みは。
答 町長・総務課長 防災担当の職員が、防災意識向上のために研修に参加している。今後、避難訓練を実践している自治会を他自治会に見学していただく。また、11月に「県内一斉防災訓練」を予定しているため、町民の防災組織拡大につなげていく。



安藤英博議員

外ヶ浜中央病院の常勤医師確保の対策は

■答弁▼3者協定が締結され、要望書を提出した

問 町長は議会での答弁の中で、8年間は現病院を使用していくと答弁しているが、現在、常勤医師の不足が一年半近くになり、その後の見通しと医師確保にどのような行動を取ってきたのか。

答 町長 医師の派遣を依頼したところ、現在、非常勤医師がきている。

問 外ヶ浜中央病院は、上磯の今別町、蓬田村、外ヶ浜町地域を中心に、住民の健康と命を守る病院として現在大きな役目を果たしているが、それに応えるための検討と対策について再度伺う。

答 中央病院事務局長 3者協定の状況であ

るが、具体的な動きはまだだが、8月28日に町長が理事を務めている青森県自治体病院開設者協議会が、知事に対して町村部への医師派遣の実現という要望書を提出した。

問 将来的に人口が減る地域包括ケアの体制と合わせた新病院の建設について、考えを伺う。

答 町長 大規模災害に耐え得るための建設地の再考や医師不足のために、現在、縮小せざるを得なくなっている。やむを得ず、現在は検討を中断している。

津軽線ホーム改善について

問 町民の方から階段を昇り降りしなくても利用できる一番線ホームを利用できるような、早く実施してほしいという声に答えるべきではないか。

答 町長 蟹田駅のステップロードを何とか早く一番線で乗り降りできるように、今別町との連携や町長同士だけでなく、議員、また町民の皆さんを巻き込んで、一緒に前向きに取り組んで行ければと思っています。

問 外ヶ浜町と今別町の町営バスが重複して

いるが、両町との協議、対策は。

答 町長 利用状況や財政負担など総合的に勘案して、地域交通全体の最適化を図っていききたい。

福祉灯油の助成を

問 灯油価格が1リットルあたり110円以上となり、少ない年金の方や高齢者の方々は生活が大変であり、町の支援が必要である。ぜひ、今年度も福祉灯油として町民に支援してほしいと考えるが。

答 町長 今後とも原油高で推移されることも想定される

ので、動向を注視して検討することとしている。
問 高齢者世帯の方々に、生活支援として栄養のバランスの取れた食事を提供、安否確認の見守り対策として配食サービスの弁当を、一般の65歳以上の町民に町として利用者補助支援する考えがないか。

答 町長 生活支援として、町でも一食につき500円の補助を実施している。





石岡 勉議員

使用不能の公衆トイレの改修は

■答弁▼県との協議を早く進める

問 町内の公衆トイレの管理状況について、議会の「産業建設常任委員会」は、6月に町当局へ文書で改善・改修を要望した。8月には改修したトイレもあったが、まだ未着手のトイレもある。今回、改修した箇所とその内容。まだ未着手の箇所とその理由は。

答 産業観光課長

改修が完了した箇所は、トンネル記念館駐車場トイレ、歌謡碑前トイレ、龍飛売店横のトイレ、レストハウス一階トイレで大便秘器・小便器の水洗バルブ、手洗いの自閉バルブ、貯水タンクの部品等を交換した。大平パークはドアの鍵



使用不能の女子トイレ

再質問

東風泊駐車帯のトイレも閉鎖しているが、原因は。

答 産業観光課長

ポンプが作動せず水が上がらない状況である。これも県と協議している。各トイレの管理はいくつかの法人・団体に委託しているが、便器等のバルブ交換が、なぜ、

2年も3年もできないのか。町側と受託側の意思の疎通ができていないのではないかと思う。以前のように町直営のほうで早く対応ができて良かったのでは。

答 産業観光課長

2年間放置していたわけではないが、観光客や町民に迷惑をかけたことにお詫び申し上げます。今後は早く対応するようにしたい。

再質問

この「エコまるくん」は一台数百万円もした高いものである。今後、同じものを買うことはないと思う。簡単に設置・運用できる普通の簡易トイレを購入した方が利用価値が高いと思うが。

答 総務課長

今後は、災害時にもイベント時にも即利用でき、簡単に取り扱いができるものの導入を考えていく。



横山拓雄議員

老朽化した海水浴場施設の対応は

■答弁▼早期改修・撤去の検討をしていく

海水浴場周辺施設について

問 漁港に接する部分の防護柵が脱落し、東屋やベンチなどの老朽化が著しく、景観が損なわれているが、改修の計画

はあるのか。

答 町長

防護柵は、漁港管理をしている県民局東青地方水産事務所が確認し、危険箇所と認識しており、改修の要望をしている。東屋やベンチは町管理施設であり、老朽化で景観が損なわれ、危険性も高く、早期改修・撤去について検討していく。

問 町公共施設等総合管理計画には、日常管理で点検をして長寿命化を図るとあるが、今まで点検は行われていたのか

今後、町と管理者が施設維持管理について明確化を図る必要があるのでは。産業観光課長

答 産業観光課長



老朽化し立入禁止となった東屋

場として、おもてなしの心、安全確保という観点で、指定管理者と協議して取り組んでいく。

問 港まつりは、多数の方が訪れ、トイレには行列ができていた。祭りを快適に楽しんでいた

多く配慮として、仮設ト

イレの検討も必要ではないのか。

答 産業観光課長

トイレは少なかつたと感じていた。今後、予算も考慮して対応していく。

こども家庭センターと地域コミュニティ

問 町の子育て施策は、ソフト面では充実してきたが、十分に役割を果たせていないのでは。ハード面の整備として、複合施設にキッズ

ルームなどと一緒にこども家庭センターを設置すること、煩雑で忘れがちな予防接種スケジュール

答 町長

外ヶ浜町は少子高齢化が進み、施設は老朽化が進んでいるが、今後は、施設を廃止したり、取捨選択が迫られていく。特に、蟹田地区は、たくさんの公共施設が浸水想定区域の中にあり、質問を受けて、災害から安全な場所に一体的な施設整備を考える。施設の廃止や存続の議論に関しては、住民の声を聞き、効率の良い公共サービスの提供に向けて検討していく。

令和6年度一般会計補正予算案 7,566万2,000円を追加

7月18日、第151回臨時会が開催され、令和6年度一般会計補正予算案など2議案を原案のとおり可決し、報告案件1件を承認しました。

○主な事業

物価高騰対策事業 7,396万2,000円

…物価高騰の影響を受ける非課税世帯や均等割課税世帯等に対して、物価高騰対策支援給付金を給付する事業。

一般会計補正予算

物価高騰対策

問 福井洋一議員

物価高騰対策支援給付金について、昨年度給付された7万円および3万円を受給した人には出ないという認識でよいか。

答 福祉課長

昨年度受給された方を除いて、今年度、非課税世帯及び均等割だけになった世帯に給付する予定としている。

財産処分

今後の分譲地売却は

問 安藤藤博議員

これからの人口対策は、若い人たちがここに土地を買い家を建てて住んでいくことが必要である。

専決処分

専決処分した事項の報告及び承認を求める件

◎報告第1号

令和5年度病院事業会計補正予算

(給湯ボイラー2基のうち1基が老朽化等により稼働不能となり、補修または更新が必要なことから、早急な予算措置を要するため。)

新人議員研修会

8月20日、青森県労働福祉会館において新人議員研修会が開催され、当町議会からは、昨年度初当選した3名の議員が参加しました。

研修会では、全国町村議会議長会議事調査部参与の赤羽正法氏を講師に迎え、「町村議会の権限・組織・運営」と題して講演があり、参加した議員の皆さんは、熱心に耳を傾け学んでいました。



受講中の当町議員

岩手県
岩泉町

町民に読んでもらえる広報へ

コロナ禍のこともあり、私が委員長になってから初めての広報視察研修の参加となりました。

岩手県は、議会広報全国コンクールにおいて最優秀賞を受賞する常連県で、岩泉町議会、金ヶ崎町議会がその中でも秀でています。

私たちは、読みやすく見出しで内容がわかる岩泉町議会を視察先と決め、研修してきたことが大変良かったと思っています。

岩泉町議会には昨年、産業建設常任委員会が視察しており、2年連続の研修先であることから、親しみを持って温かく受け入れていただきました。

まず驚いたのが、広報委員会の委員長、副委員長がともに一期目の議員であること、岩泉町議会議員の皆さんの懐の深さと、目標に向けて一体感を持って取り組んでいると感じました。



岩泉町議会広報広聴常任委員会の皆さんと当町委員団

と。その内容は「町民参加の紙面づくり」「読みやすい紙面づくり」「見出しで分かる紙面づくり」。

任感を持って編集していることが疑義を通し、各委員の発言に表れていました。

そして、編集方法として、定例会終了後30日程度での発行と、写真は1ページに1枚以上使用すること。

私も自覚と責任感を持って、議会だよりを良くするために努力をしていかねばと強く感じた研修でありました。



挨拶をする当町議会広報特別委員長

千葉委員長から、議会だよりの編集について8項にわたり説明を受けました。

議会だより編集の基本方針3点を定めていること。

編集にあたり、各委員が主体的に役割分担を責

議会にお越しく下さい



外ヶ浜町議会では、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、不定期で開催される臨時会が開催されています。

定例会については、町内放送でも町民の皆さんにお知らせしています。

議場には傍聴席があり、議員による一般質問や、事前に提出された議案の審議などを見聞きすることができます。

外ヶ浜町の置かれている状況や、今後に向けての対策や政策の提案、それらに関する議員と行政とのやり取りなど、活発な議論が行われております。

**みなさん、
ぜひお越しく下さい！**

『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、「**みなさんの声**」を募集しています。

例えば：

- ・文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・議会で検討するとされた答弁の、その後を知りたい。
- ・町内の家族や町民の紹介記事も入れてみてはどうか。

など、どんな『**声**』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。

いただいた『**声**』は、紙面に掲載させていただくこともあります。その際にご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

編集後記

寒さも本格的になりました。気象庁の発表によると、今年の冬は厳しい寒さで、降雪量も多いとのこと。この冬も、寒さに負けず、無事故で元気に過ごしたいですね。

外ヶ浜町では、高齢者を対象にインフルエンザやコロナのワクチン助成制度を行っています。何事も健康第一、どうか皆様ご自愛くださいませ。

さて、この度「議会だより」の一般質問のページを『ひとり1ページ以内』としました。今後とも、町民の皆様にご覧いただける「議会だより」を目指し、取り組んでまいります。

山口 佳子

議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一

副委員長：横山 拓雄

委員：山口 佳子/柳谷 隆男

浜谷 恭市/石岡 勉

三上 満